

郷土こぼれ話

地域の神様 ④ 石尊様（柿沼北廓）

石尊様は、柿沼北廓地区の神様です。古くから北廓の生活を見守ってきてくれた神様です。

石尊様の祠を支える柱には、《大山阿夫利神社》と書かれています。

阿夫利神社は大山（神奈川県）にあり、大山が雨降山とも呼ばれているように、農耕の神様であり雨乞いの神様です。大山の山頂にある岩に神々が降りると言われ、石尊様と呼ばれています。北廓の石尊様も、阿夫利神社の分

社の一つです。関東には石尊様

がたくさんあると言われます。柿

沼には、中廓や遠新田にも石尊様があります。

北廓では、5人の用掛（自治会の班長が兼任）を中心に、農耕の神石尊様と養蚕の神蚕影大神（蚕影様）を廓の人みんなでお護りしてい



柿沼北廓の石尊様

ます。7月20日頃石尊様を設置し点灯します。約1か月お祀りし、その後祠は木箱に納められます。

今から約30年前、祠が傷んだので造り直しました。また、これをきっかけに廓の旅行で大山阿夫利神社にお参りしたことがありました。石尊様のいわれについて詳しいことが分からなかった人たちにはとても参考になる良いお参りだったと言われています。

大字柿沼には雀神社があります。小字北廓には、さらに石尊様と蚕影様があります。かつて農村地帯だった北廓地区の人達は、米麦の豊作や養蚕の成功を神様に祈りました。神様もそれに応えてくれました。現在の北廓地区があるのは、地区を支えてくれた神様と地区の人々のお陰といえると思います。また、それ以上なのは神様のもとにまとまった人々の「まとまりの力」だったのではないのでしょうか。

農業に携わらない人、他の地区から移ってこられた人が多くなった今ですが、地域の神様である産土神をお護りすることは、地域の人の連携と絆を深める上で大切なことだと想います。さらに、地域文化・地域の活力を育てる上で重要なことだと考えます。それぞれの地域でそれぞれの神々がもっと身近で、もっと大切にされるといいなと思います。

文・写真：むらた ひとし

大幡公民館だより 平成28年 1月号